



最新のサイバー攻撃傾向と対策セミナー

～進化し続ける標的型サイバー攻撃にどう対応するべきか～

国内の被害拡大警戒ー世界中で感染が拡大する暗号化ランサムウェア「WannaCry」など

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より、FUJITSUファミリー会にご支援・ご参加を賜り誠にありがとうございます。

暗号化型ランサムウェア（身代金要求型ウイルス）「WannaCry」により、医療、製造、官公庁などさまざまな業種、組織で被害を受けています。

本セミナーでは、標的型サイバー攻撃の最新の傾向と効果的な対策ソリューションをご覧いただきながら、重要な情報資産を守るための取り組み方についてご紹介いたします。

是非、今後のセキュリティ対策の一環として、ご参加を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

FUJITSUファミリー会東北支部

開催概要

開催日時	2017年6月26日(月) 15:00～17:00 (受付開始 14:30～)		
開催場所	富士通株式会社 山形支店 7階会議室 山形市本町1-4-21 荘銀山形ビル (裏面地図を参照ください)		
対象	・セキュリティ対策担当の方 ・サイバー攻撃対策に関心のある方	参加費	無料
講師	トレンドマイクロ株式会社	申込締切日/定員	6月22日(木)/15名
スケジュール	テーマ/概要		
セッション1 15:00～16:00	企業を狙う攻撃の拡大 – ランサムウェア・サイバー攻撃の脅威 世界各地で被害が報道されているランサムウェア「WannaCry」は、法人組織内に侵入後、ネットワーク経由で感染を拡大する機能を持ったランサムウェアです。法人ではランサムウェアの脅威を十分に理解し、その対策を実施していかなければなりません。 ランサムウェア以外の脅威として「ビジネスメール詐欺(BEC)」が世界的に注目されていて、今後さらに攻撃の拡大が予想されます。 本セッションでは、ランサムウェアなどの最新の攻撃傾向や具体的な攻撃手法を数字や事例を交えて紹介いたします。		
セッション2 16:10～16:50	トレンドマイクロの標的型攻撃対策ソリューションのご紹介 従来型のセキュリティ対策だけでは防ぎきれない脅威にたいして、(入口対策)なりすましメールによる侵入を検知ブロックする標的型メール対策、(内部対策)企業内のネットワーク通信を可視化して脅威をいち早く検出する監視装置など、重要な情報資産を守るための効果的なソリューションをご紹介いたします。		
16:50～17:00	質疑応答 / アンケート記入		

お問い合わせ先

FUJITSUファミリー会東北支部事務局 (富士通(株)東北支社内)

Tel : 022-264-5916 メール : contact-family-touhoku@cs.jp.fujitsu.com